

中国残留邦人等への理解を深める集い in 埼玉

あなたの隣にいる『帰国者』のこと
知っていますか？

入場無料!
定員80名
申込裏面

中国残留邦人は、日中国交正常化(1972年)後、中高年となってようやく祖国の土を踏むことができました。このような方々とその家族は「(中国)帰国者」と呼ばれています。帰国者の祖国での暮らしは、戦争の傷跡に苦しみ、言葉の壁や文化の違いに苦しむ日々でもありました。帰国者は、戦後72年目の今、何を考え、何を思うのか？負の歴史を繰り返さないためにも、世代を越えて続く帰国者の物語に耳を傾けてみませんか？

第1部

中国残留邦人の歴史と帰国者1世の今

■中国残留邦人が生まれた背景について

DVD「満蒙開拓の真実」(満蒙開拓平和記念館制作)上映

■「中国残留孤児」(帰国者1世)としての体験談

香月英子さん(77歳) 上尾市在住

■埼玉県在住帰国者による舞台発表

さいたま市日本語教室「さくらの会」



肉親と再会した「残留孤児」

*

第2部

帰国者2世が語る

「帰国者家族の現在」

~2,3世が日本で生きるということ、

高齢帰国者の介護問題~



帰国者の家族

【上條真理子さん】

埼玉県在住、帰国者2世、17歳のとき来日

NPO中国帰国者総合互助ネットワーク 副理事長

介護福祉士、ケアマネジャー

日時：平成29年 **11月23日** (木・祝) 13:00~16:00 (12:30開場)

会場：埼玉会館 **7A会議室** (さいたま市浦和区高砂3-1-4)

主催：中国帰国者支援・交流センター

後援：埼玉県、さいたま市、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

★ お席に限りがございますので必ず事前にお申し込みください。方法は裏面に！ ★

【中国残留邦人等とは…】

1945年（昭和20年）当時、中国東北地区（旧満州地区）には開拓団など多くの日本人が居住していましたが、同年8月9日、突然のソ連参戦により、人々は居住地を追われ、逃避中や収容所では飢餓や伝染病により死亡者が続出するという悲惨な状況にありました。このような混乱の中、肉親と離別して孤児となり中国の養父母に育てられたり、中国人の妻になるなどしてやむなく中国にとどまった方々を「中国残留邦人」と呼びます。これらの人々はその後も長年にわたり日本への帰国が叶わず、“残留”せざるを得ませんでした。

残留邦人の一部には、樺太や旧ソ連本土に残留されていた方もいることから「中国残留邦人等」と総称します。

◆会場へのアクセス◆ JR浦和駅(西口) 徒歩6分



埼玉会館(さいたま市浦和区高砂3-1-4)

◆お申し込み方法◆

中国帰国者支援・交流センターまで、お名前とお住まいの都道府県・市区町村名、お電話番号等を添えてFAXかメールでお申し込みください。

FAX : 03(5807)3174 メール : kikaku@sien-center.or.jp

*メール、FAXでのお申し込みがご不便な方は、**電話 : 03 (5807) 3171**へ。



FAX用申込用紙

①お名前 () 都県: 市区 お電話 () -

年齢 () 代 [一般 ・ 学生 ・ 帰国者 ・ その他 ()]

②お名前 () 都県: 市区 お電話 () -

年齢 () 代 [一般 ・ 学生 ・ 帰国者 ・ その他 ()]

③お名前 () 都県: 市区 お電話 () -

年齢 () 代 [一般 ・ 学生 ・ 帰国者 ・ その他 ()]

※所属グループ、団体がある方はお書きください。 []

※お預かりした個人情報は厳重に管理し、本事業以外の目的に使用しないことを固くお約束します。

*:写真撮影 浜口タカシ、提供 (公財)中国残留孤児援護基金